

2023年8月8日

第75期(2024年3月期)
第1 四半期決算説明資料



スタンダード 9367

当社グループについて

商社 食品メーカー 鉄鋼メーカー 化学品メーカー 量販店 倉庫業者 等のお客様

大東港運グループ

国内

 **大東港運株式会社**

(創業 1957年12月)
輸出入貨物取扱・鉄鋼物流・不動産賃貸 等

海外

連結子会社

大東運輸倉庫(株)
陸上運送・倉庫・
不動産賃貸

丸田運輸倉庫(株)
海上コンテナ運送
トラック運送

FDロジスティクス(株)
海上コンテナ運送

(株)眞栄ロジ
海上コンテナ運送

**大東港運(江陰)
儲運有限公司**
倉庫

中国

Ever Glory Logistics Pte.Ltd.
運送・倉庫・
フレイトフォワーディング

シンガポール

HACCP



有限会社水文
白えびの
買付・加工・卸売

ダイトウ保険センター(株)
損害保険代理店
※非連結子会社

DB CORPORATION
エージェン業務(貨物・船)
※持分法適用関連会社

韓国

2023年4月1日付で、連結子会社であったダイトウ物流(株)は当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

2024年3月期1st-Qの環境

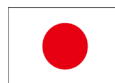
円安の進行・物価上昇などにより依然として先行きは不透明



・ 景気足踏み状態



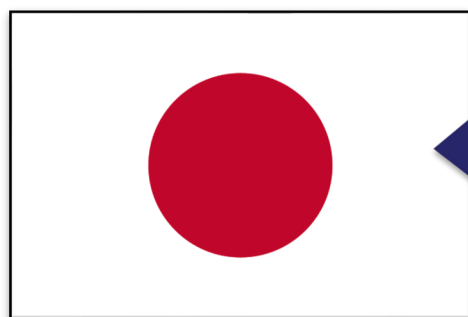
・ 景気回復ペース鈍化



・ 個人消費回復

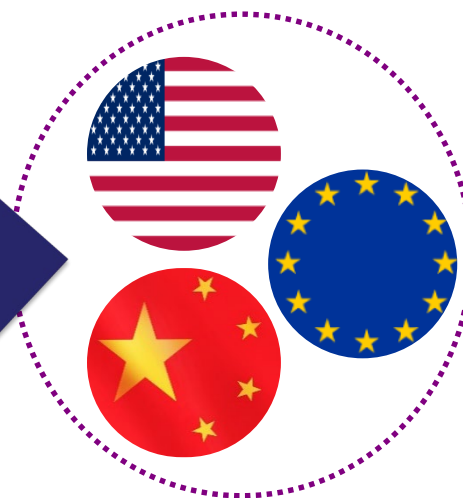


・ 個人消費や設備投資増加



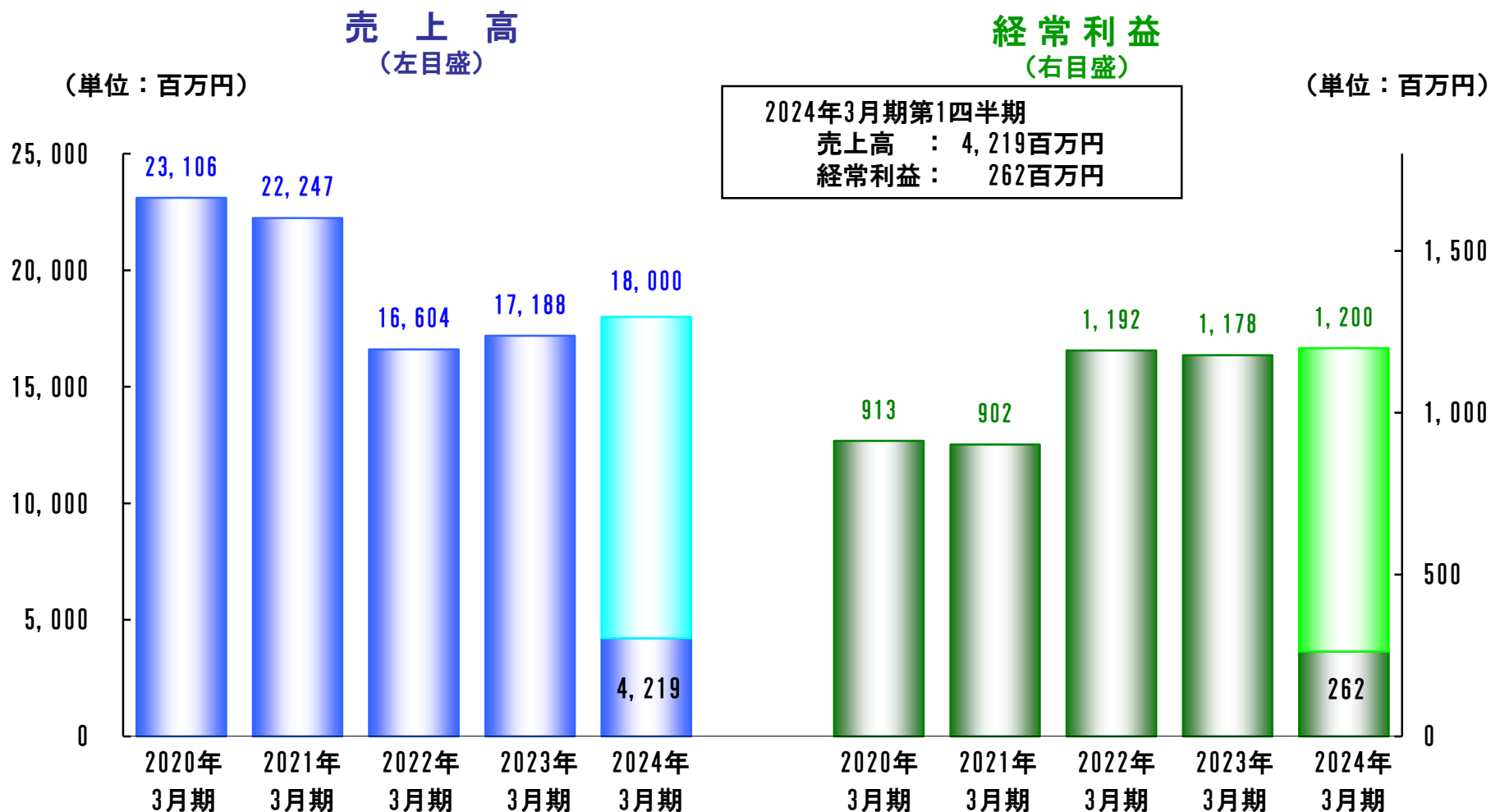
輸入

輸出



輸入及び輸出：米国・欧州・アジアともに横ばい

連結業績の推移



※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。

セグメント別売上高

輸出入貨物取扱事業

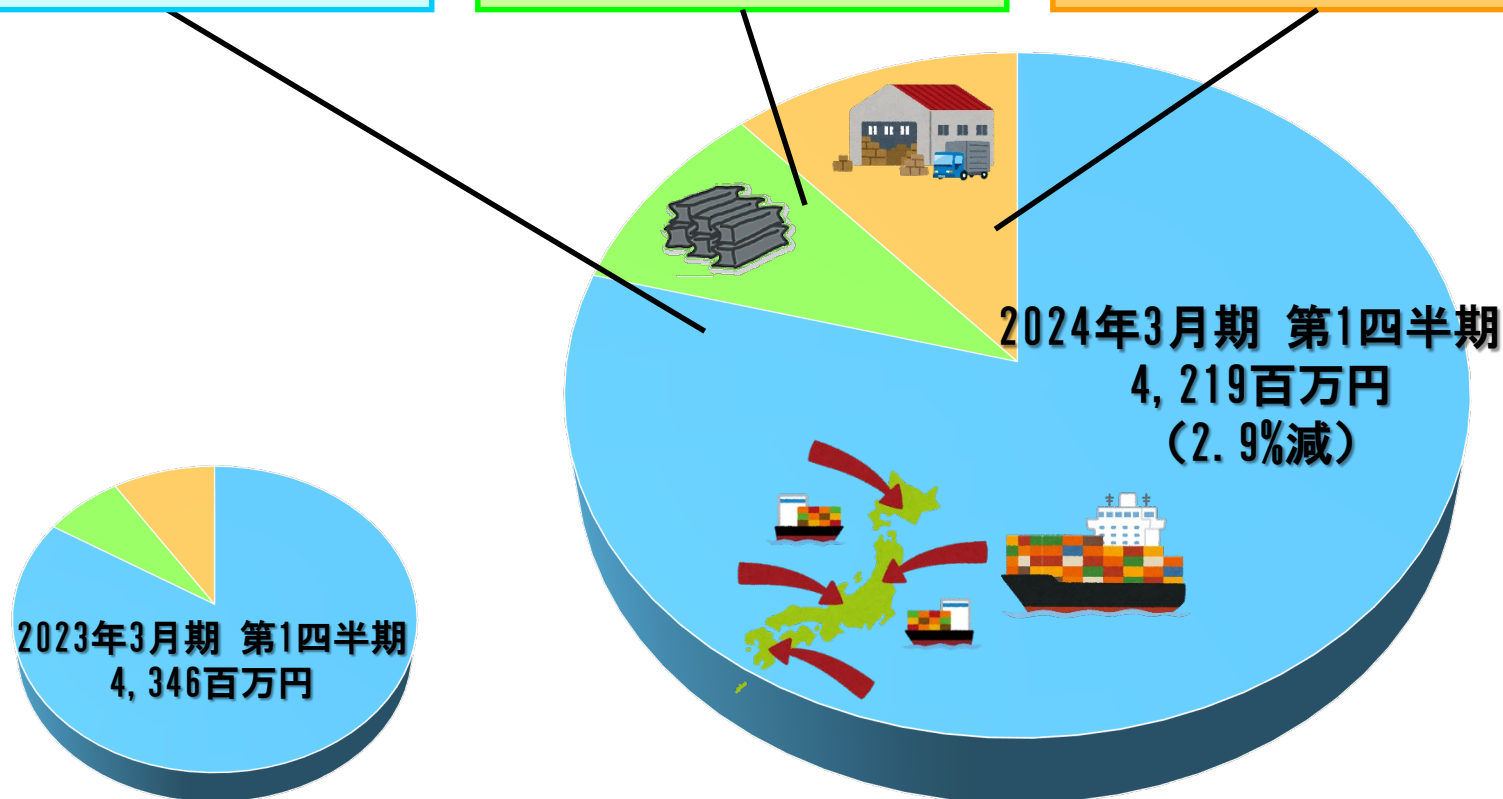
売上高：3,203百万円
前年同期間比：▲238百万円
(6.9%減)

鉄鋼物流事業

売上高：480百万円
前年同期間比：+73百万円
(17.9%増)

その他事業

売上高：535百万円
前年同期間比：+38百万円
(7.8%増)



業務別・取扱品目別連結売上高

連結業績

売上高：4,219百万円 前年同期間比：▲127百万円（2.9%減）

輸出入貨物取扱事業

売上高：3,203百万円
前年同期間比：▲238百万円
（6.9%減）

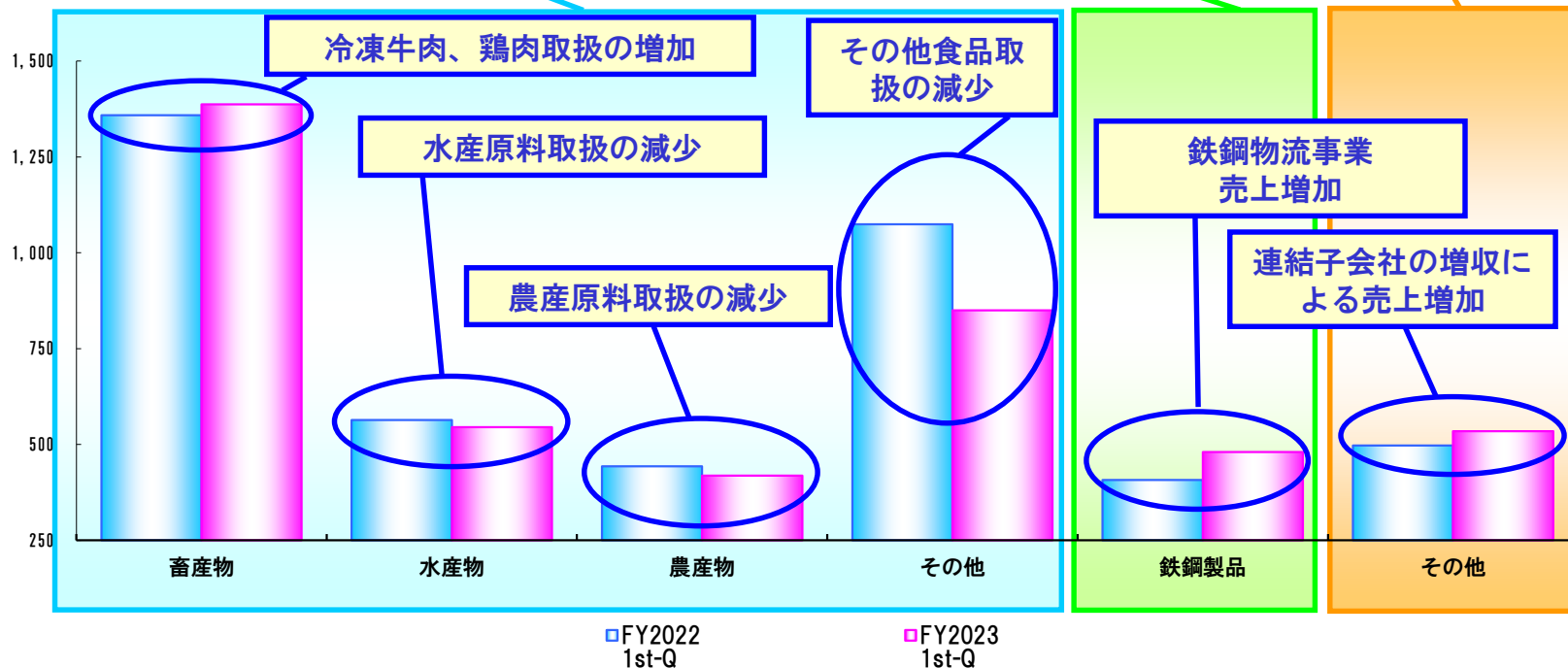
鉄鋼物流事業

売上高：480百万円
前年同期間比：+73百万円
（17.9%増）

その他事業

売上高：535百万円
前年同期間比：+38百万円
（7.8%増）

（単位：百万円）



連結業績の総括

連結業績の総括

売上高は、鉄鋼物流・その他事業が増加したものの、輸出入貨物の取扱が減少したため、減収となった。減収により営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となった。

		2023年 3月期 1st-Q	2024年 3月期 1st-Q	増減	%	主な要因 (単位：百万円)	
売上高	輸出入貨物取扱	畜産物	1,359	1,387	+27	+2.0	冷凍牛肉、鶏肉取扱の増加
		水産物	564	545	▲18	▲3.3	水産原料取扱の減少
		農産物	443	419	▲23	▲5.3	農産原料取扱の減少
		その他	1,074	850	▲224	▲20.9	その他食品取扱の減少
		計	3,442	3,203	▲238	▲6.9	
		鉄鋼物流	407	480	+73	+17.9	鉄鋼物流事業売上増加
		その他	497	535	+38	+7.8	連結子会社の増収により売上増加
		合計	4,346	4,219	▲127	▲2.9	
	営業利益	315	223	▲91	▲29.1		
	経常利益	344	262	▲81	▲23.8		
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	231	173	▲58	▲25.2		

四半期連結業績の推移（累計）

（単位：百万円）

		2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				
		1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	1st-Q (4-6月)	2nd-Q (4-9月)	3rd-Q (4-12月)	4th-Q 通期	
売上高	輸出入貨物取扱	畜産物	1,257	2,456	3,703	4,870	1,359	2,633	3,838	4,955	1,387			
		水産物	490	1,017	1,589	2,053	564	1,211	1,829	2,339	545			
		農産物	426	838	1,261	1,656	443	857	1,305	1,674	419			
		その他	1,058	2,283	3,558	4,554	1,074	2,157	3,241	4,150	850			
		計	3,232	6,596	10,112	13,134	3,442	6,861	10,215	13,119	3,203			
	鉄鋼物流	428	842	1,279	1,686	407	828	1,316	1,799	480				
	その他	433	866	1,328	1,782	497	1,028	1,628	2,211	535				
	合計	4,094	8,305	12,720	16,604	4,346	8,718	13,160	17,130	4,219				
営業利益		262	553	922	1,073	315	589	898	1,038	223				
経常利益		287	587	1,002	1,192	344	635	1,045	1,178	262				
親会社株主に帰属する 四半期純利益 または当期純利益		191	430	709	832	231	427	702	783	173				

連結貸借対照表の総括

(単位：百万円)

		2023年 3月期 期末	2024年 3月期 1st-Q	増減	主な要因
資 産	流動資産	7,866	7,539	▲326	有価証券 +50 現金及び預金 ▲314 関税等立替金 ▲119
	固定資産	6,254	6,365	+111	有形固定資産 +42 投資有価証券 +181 繰延税金資産 ▲110
	合計	14,120	13,905	▲215	
負 債	流動負債	3,410	3,189	▲221	未払法人税等 ▲190 賞与引当金 ▲138 流動負債/その他(主に預り金) +118
	固定負債	2,122	2,031	▲91	長期借入金 ▲99
	合計	5,533	5,220	▲312	
純資産		8,587	8,684	+96	その他有価証券評価差額 +106

※自己資本比率61.3%（非支配株主持分を除いて計算）

四半期連結貸借対照表の推移

(単位：百万円)

		2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期			
		1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末	1st-Q	2nd-Q	3rd-Q	4th-Q 期末
資 産	流動資産	6,307	7,230	7,442	7,309	7,131	7,871	8,240	7,866	7,539			
	固定資産	5,729	5,842	5,777	5,968	5,862	6,147	5,965	6,254	6,365			
	合 計	12,036	13,072	13,220	13,277	12,993	14,019	14,205	14,120	13,905			
負 債	流動負債	3,047	3,458	3,456	3,477	3,212	3,598	3,444	3,410	3,189			
	固定負債	1,982	2,346	2,225	2,061	1,944	2,334	2,332	2,122	2,031			
	合 計	5,029	5,805	5,682	5,538	5,156	5,933	5,777	5,533	5,220			
純 資 産		7,007	7,267	7,538	7,738	7,836	8,086	8,427	8,587	8,684			

Be Sustainable ~サステナブルを目指して~

基本理念・『「ありがとう」にありがとう』のコーポレートフィロソフィーに加え、社会環境の変化等に伴う更なる課題を踏まえ、持続的に成長する企業となるべく、第8次中期経営計画2023-2025を実行します。

100年企業
に向かって

2017

第6次中期経営計画

Diversification 変化による進化

- ・ 営業力強化
- ・ 生産性向上
- ・ 事業拡大

2020

第7次中期経営計画

Develop inherent value 独自の価値創造

- ・ コア事業の拡大と基盤強化
- ・ 物流インフラ事業の拡充
- ・ 人材育成の高度化
- ・ グループ全体成長

2023

第8次中期経営計画

Be Sustainable サステナブルを目指して

- ・ 持続的価値の拡大
- ・ 営業組織力・人材力・IT力の強化
- ・ 環境課題・社会課題に配慮した事業推進
- ・ グループの成長と発展

骨子

当社グループを取巻く環境が急速に変化し、価値観が多様化していく中で、成長戦略と事業を通じた社会貢献の実践による持続的成長を実現するため、以下の4骨子から成る中期経営計画を策定しました。

I	持続的価値の拡大	コア事業の更なる拡大と新たな成長へ向けた派生事業領域への挑戦
II	営業組織力・人財力・IT力の強化	営業力向上による付加価値提供力の強化、人・ITの連携による生産性の向上
III	環境課題・社会課題に配慮した事業推進	事業を通じた環境課題と地域社会への貢献
IV	グループの成長と発展	グループ各社の業容拡大とシナジー強化

通期の連結業績予想について

2024年3月期 連結業績予想について

(単位：百万円)

	2023年 3月期 通期	2024年 3月期 通期予想	増減	説 明
売上高	17,130	18,000	+869	<p>当社グループは「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーに加え、社会環境の変化等に伴う更なる課題を踏まえ、持続的に成長する企業となるべく「Be Sustainable ~サステナブルを目指して~」を経営ビジョンに掲げた第8次中期経営計画を策定いたしました。</p> <p>この2023年4月からを初年度とする3年間の指針とともに当社グループがワンチームとなって、確実に歩んでまいります。</p>
営業利益	1,038	1,100	+61	
経常利益	1,178	1,200	+21	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	783	850	+66	

配当金について

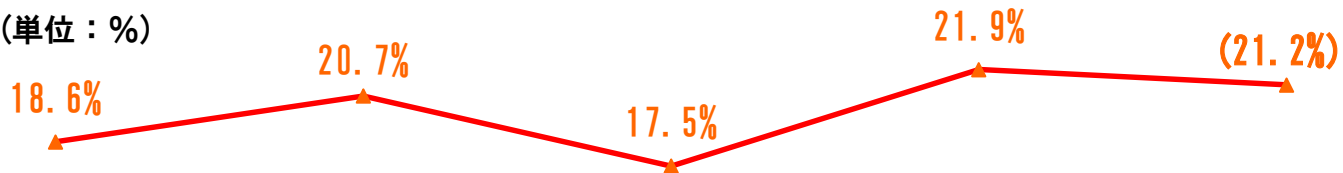
一株当たり配当金・配当性向（連結）

当社は、株主の皆様への長期的な利益還元を重要な課題であると認識し、安定的な配当を行うことを基本方針としています。

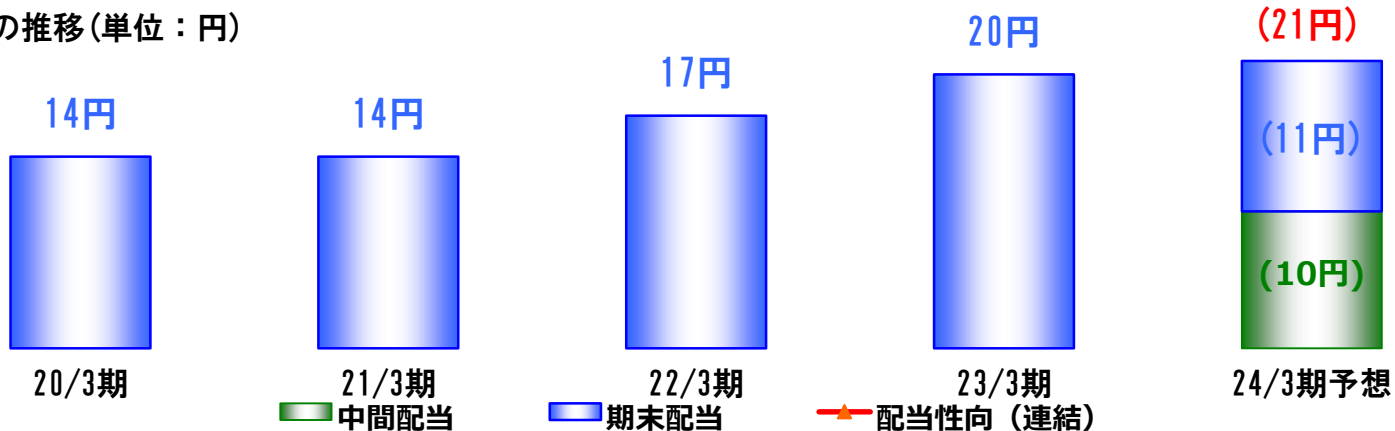
配当については、中長期的視点での企業価値向上のために必要な事業投資を継続したうえで、1株当たり年額20円を下限とし、各事業年度の収益力向上を考慮しつつ、配当性向20～30%を目安として、中間配当及び期末配当の年2回実施することを基本方針といたします。

24年3月期から配当を年1回→年2回に変更

配当性向(単位：%)



配当金の推移(単位：円)



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するお問合せ先

大東港運株式会社

総務部総務課

TEL : 03-5476-9701

E-mail : soumu@daito-koun.co.jp

URL : <https://www.daito-koun.co.jp/>